

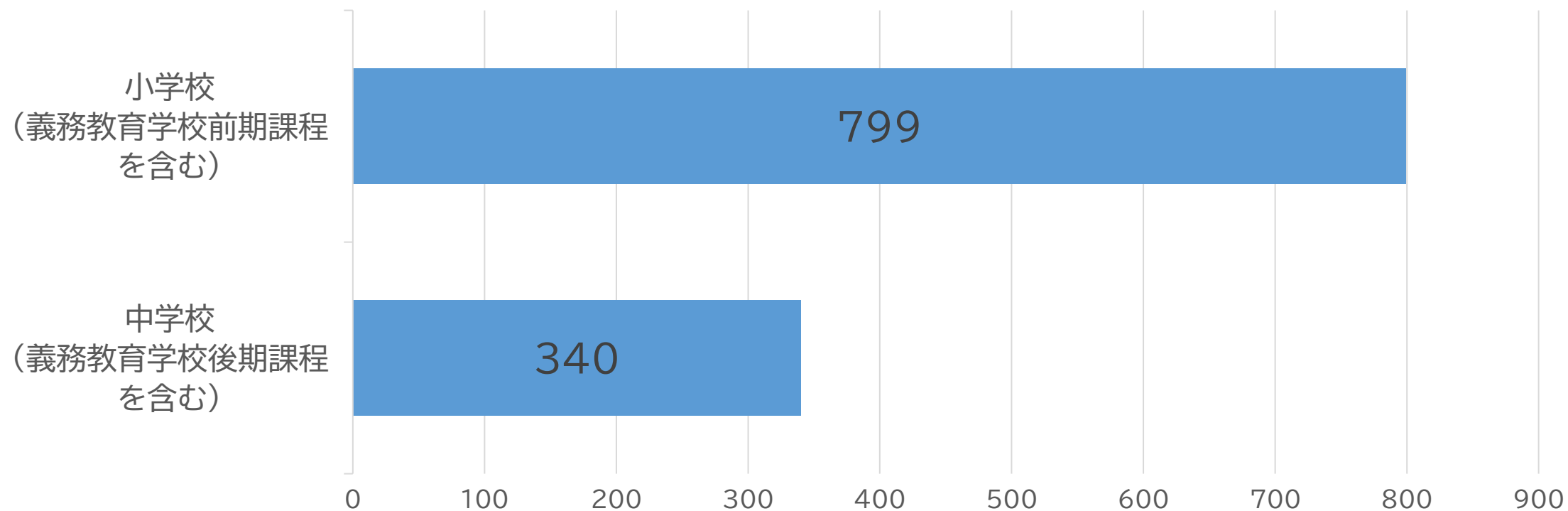
令和7年度 ラーケーションの日 保護者アンケート結果

【調査の概要】

調査対象 長浜市内の小・中・義務教育学校の保護者
実施期間 令和8年3月3日～3月16日
回答数 964名
調査方法 インターネットアンケート

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

お子さんの所属校種*小中どちらにもおられる場合は両方カウント(人)

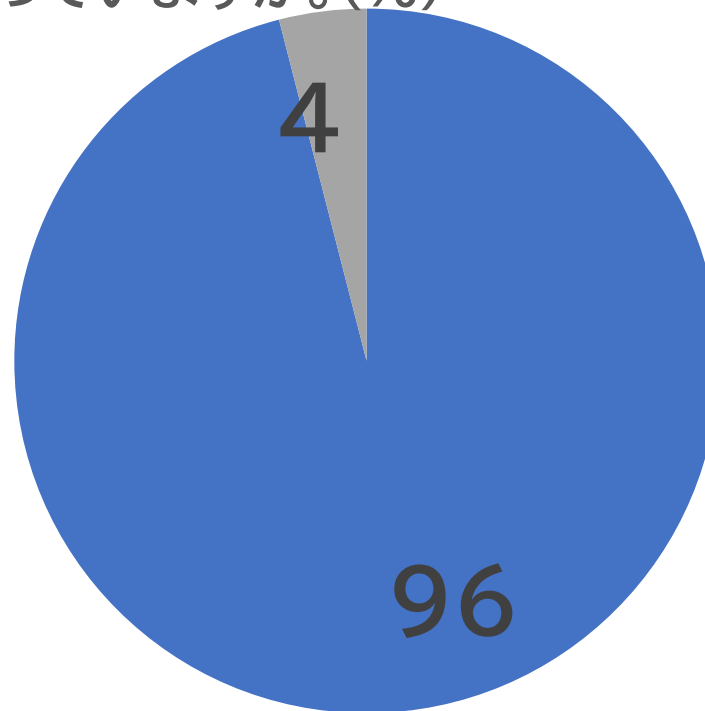


ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

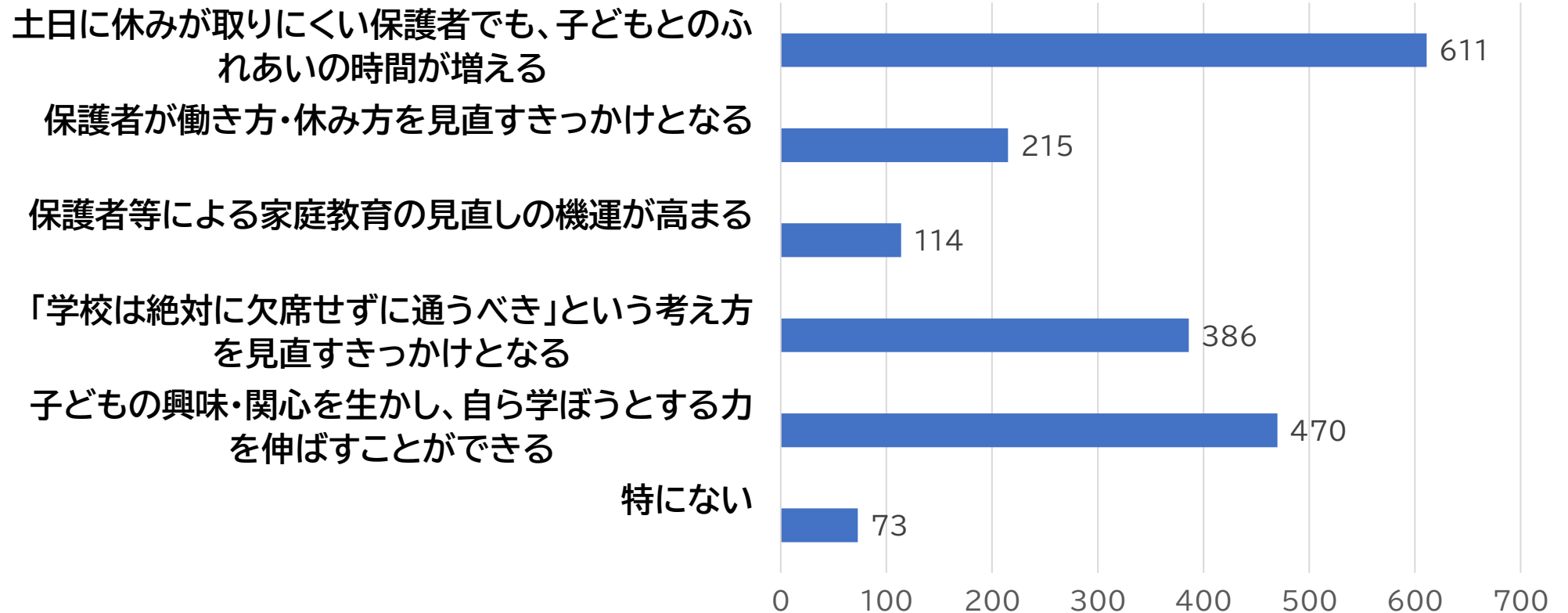
長浜市において「ラーケーションの日」が導入されていることを
知っていますか。(%)

■ 知っている

■ 知らない



ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～



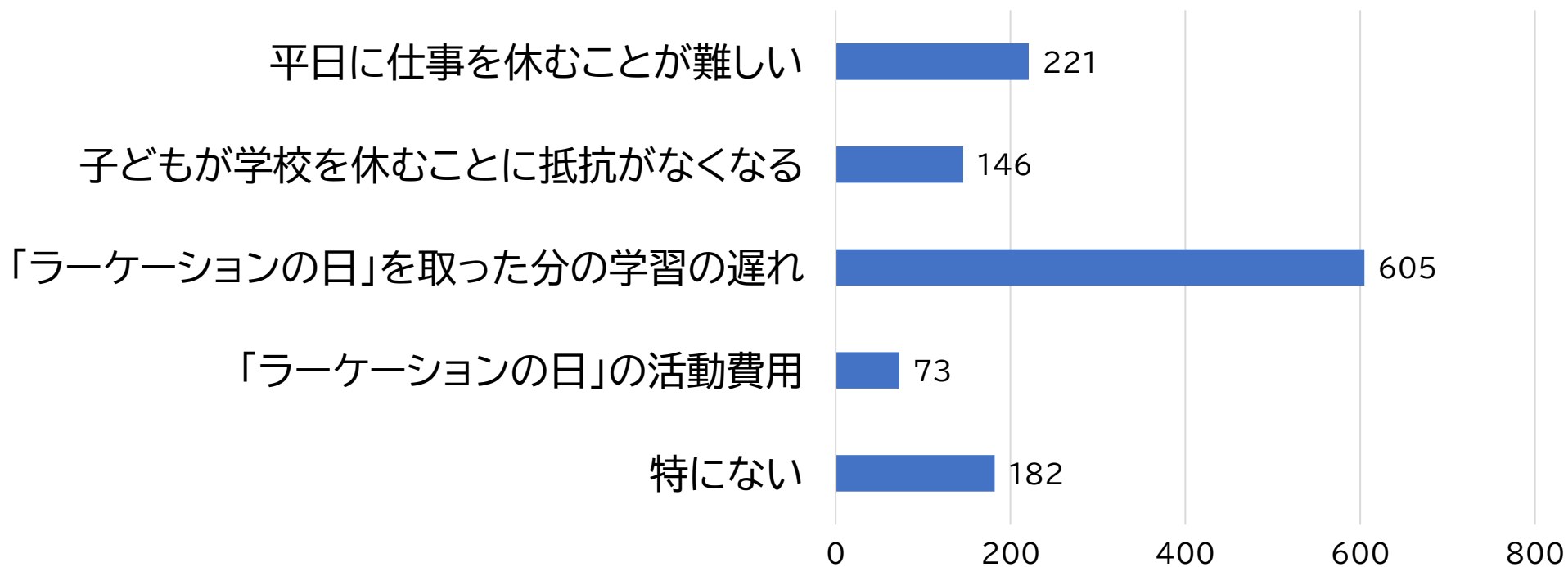
■「ラーケーションの日」について、よいと思うこと(複数回答可)(人)

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」について、よいと思うこと その他(自由記述) まとめ

- ・平日に出かけることで、混雑を避けてゆとりをもって活動できる
- ・土日には難しい体験や見学の機会につながる
- ・親子で過ごす時間や家族の絆が深まる
- ・子ども一人ひとりと丁寧に関わる時間が持てる
- ・子どもや保護者のリフレッシュにつながる
- ・保護者が気兼ねなく計画を立てやすい
- ・欠席への心理的負担が軽減される
- ・子どもの学びや視野を広げるきっかけになる

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～



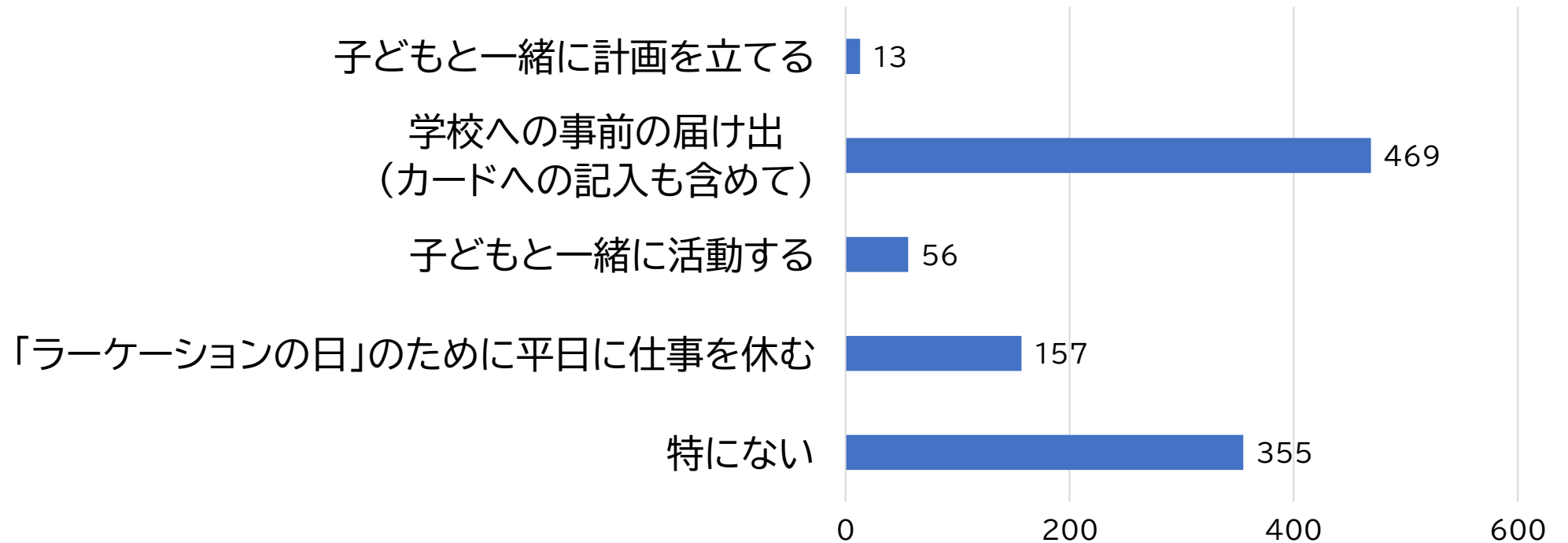
- 「ラーケーションの日」について、取得の妨げとなっていること・不安なこと(複数回答可)(人)

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」について、取得の妨げとなっていること・不安なこと その他(自由記述)まとめ

- ・申請や報告の手続きが負担に感じられる
- ・申請方法や申請先がわかりにくい
- ・事前申請が必要なため、予定変更に対応しにくい
- ・取得できない日や学校行事との調整が難しい
- ・学習の遅れや宿題への不安がある
- ・子ども自身が学校を休みたがらない
- ・保護者の仕事や家庭の事情により活用しにくい
- ・制度の意義や利用基準がわかりにくい

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～



- 「ラーケーションの日」の取得について、負担に思うこと(複数回答可)(人)

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

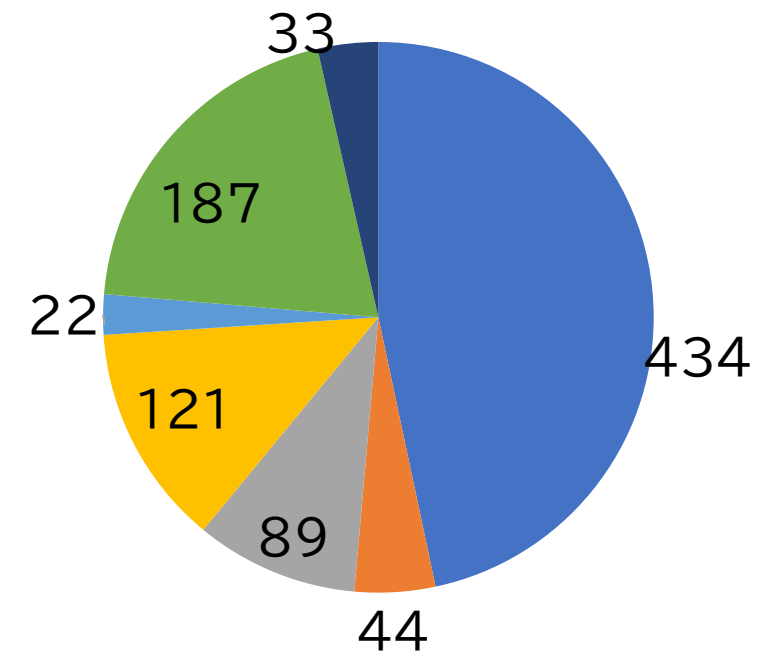
「ラーケーションの日」の取得について、負担に思うこと その他(自由記述)まとめ

- ・申請や報告の手続きに負担を感じる
- ・申請方法や報告方法がわかりにくい
- ・申請期限があり、柔軟に利用しにくい
- ・学習の遅れや学校生活への影響が心配
- ・取得できない日や学校行事との調整が難しい
- ・学校や先生への負担を気にする声がある
- ・心理的な負担や周囲の目が気になる
- ・制度を利用しにくい家庭状況や情報不足がある

ラーケーションの日 アンケート結果について ~保護者対象~

「ラーケーションの日」の取得について(人)

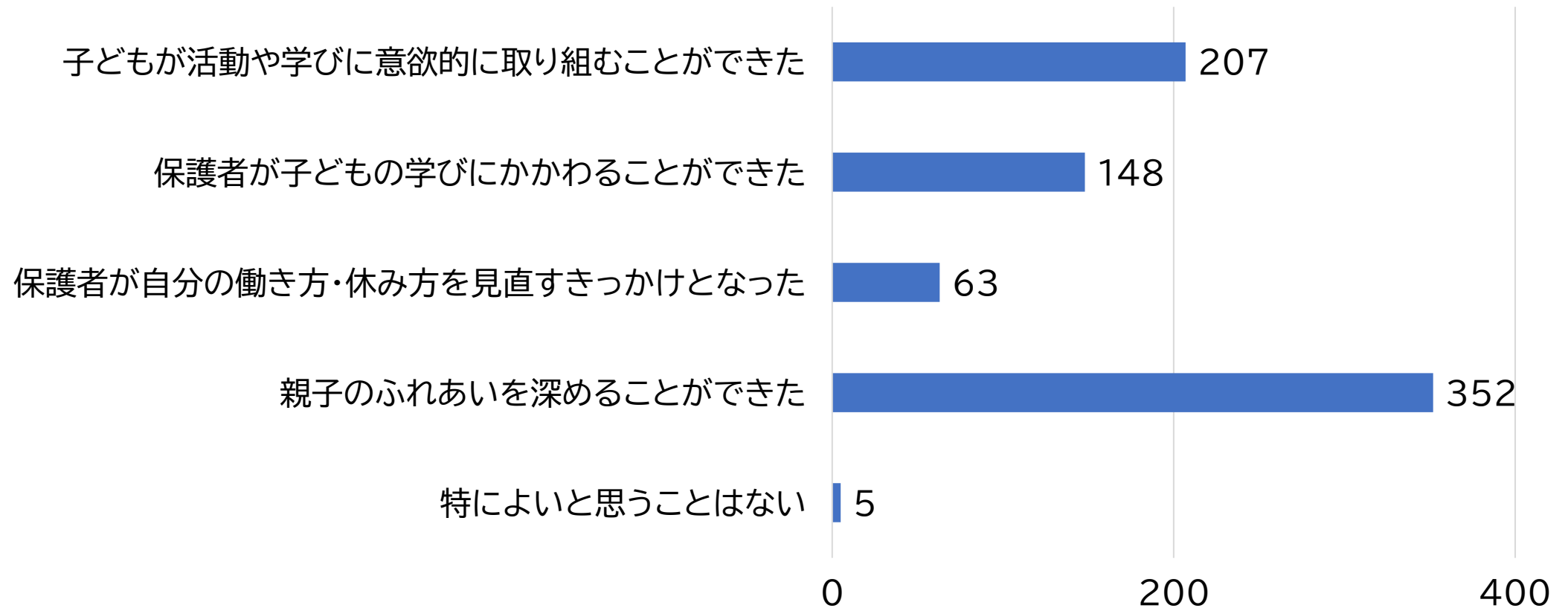
- すでに取得した
- 今年度中に取得予定
- 今年度は難しいが、次年度取得予定
- 取得したいが、仕事の都合により難しい
- 取得したいが、子どもが取りたがらない
- 取得する予定はない
- その他(自由記述)



「ラーケーションの日」の取得について その他(自由記述)まとめ

- ・制度を活用したいという意向はある
- ・申請や報告の手続きが負担になっている
- ・取得方法やルールがわかりにくい
- ・事前申請が必要なため、取得しにくい
- ・取得できない日があり、希望日に利用できないことがある
- ・学校ごとの案内や対応に分かりにくさを感じる
- ・家庭の事情により取得しにくい場合がある
- ・制度をより利用しやすくしてほしいという要望がある

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～



- 「ラーケーションの日」を取得してよかったこと(複数回答可・取得済みの方のみ)

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」を取得してよかったこと その他(自由記述)まとめ

- ・学校を休むことへの心理的負担が軽減された
- ・親子でゆっくり過ごす時間を持つことができた
- ・平日に利用することで、混雑を避けて活動できた
- ・土日には難しい特別な体験ができた
- ・子どもの学びや興味・関心につながった
- ・子ども自身が学びの日として意識しやすかった
- ・家庭の事情に合わせて子どもと過ごせた
- ・子どもの気分転換や前向きな気持ちにつながった

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」に関するご意見

保護者アンケートでは、「ラーケーションの日」について、継続を望むご意見や活用してよかったという声が多く寄せられました。

一方で、学習面への不安や申請手続き、制度の周知のあり方などについてのご意見もいただきました。

主なご意見と今後の対応の方向性を、次のとおり整理しました。

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」に関する主なご意見

1. 制度の継続を望む声

- 平日に親子で過ごす時間を持つことができ、貴重な機会になっている。
- 学校外での体験や見学など、ふだんできない学びにつながっている。
- 土日や長期休業期間とは異なる過ごし方ができるため、今後も継続してほしい。
- 混雑を避けて施設等を利用できることにメリットを感じる。
- 長浜市の特色あるよい取組として続けてほしい。

2. 親子の体験や家族の時間につながっている

- 親子で一緒に計画を立てること自体が、学びや良い経験になっている。
- 家族で過ごす時間や会話が増え、思い出づくりにつながっている。
- 平日にしか参加しにくい行事や施設見学ができ、有意義だった。
- 子どもが自ら調べたり、目的をもって行動したりするきっかけになった。
- 家庭の勤務形態によっては、土日より平日の方が活用しやすい。

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」に関する主なご意見

3. 学習の遅れや授業への影響に対する不安

- 休んだ日の授業の遅れが心配で、取得をためらうことがある。
- 高学年や中学生になるほど、学習内容が難しくなり利用しにくい。
- テスト前や行事前は、特に不安が大きい。
- 欠席した分を家庭だけで補うのは難しいと感じる。
- 学習面のフォローがあると、より利用しやすい。

4. 申請方法や手続きがわかりにくい

- 電子申請は便利だが、申請先やURLが見つけにくい。
- どこから申請すればよいのか分かりにくく、初めての利用時に戸惑う。
- 学校ホームページや市ホームページから分かりやすくアクセスできるようにしてほしい。
- 紙の申請の方がわかりやすいと感じる家庭もある。
- 書き方の見本や手続きの流れを示してほしい。

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」に関する主な意見

5. 申請期限や取得条件の見直しを求める声

- 1週間前までの申請では、仕事や天候の都合に対応しにくい。
- もう少し直前まで申請できると利用しやすい。
- 取得できない日を早めに知らせてほしい。
- テスト前や学校行事との関係について、ルールをわかりやすくしてほしい。
- 半日利用や学期ごとの日数設定など、柔軟な運用を望む声がある。

6. 報告書や振り返りの負担に関する意見

- 振り返りや報告は、学びを深めるうえで大切だと思う。
- 一方で、報告書の作成が負担になり、利用しにくいと感じる。
- 記入欄が少なく、十分に振り返りができないという声がある。
- 自由記述や写真添付など、柔軟な方法にしてほしい。
- 報告の必要性や提出方法が分かりにくい。

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」に関する主なご意見

7. 制度の趣旨やルールをより明確にしてほしい

- 「学び」を目的とする制度であることを、もっと明確に周知してほしい。
- 単なる遊びや自由に休める日と受け止められないようにしてほしい。
- 保護者同伴の要否など、利用のルールが分かりにくい。
- 子ども自身が制度の目的を理解できていない場合がある。
- 通常の欠席との違いが分かりにくい。

8. 利用しやすさや公平性への配慮を求める声

- 平日に仕事を休みにくい家庭では利用が難しい。
- 家庭の事情によって、利用できる家庭と利用できない家庭がある。
- 子どもが不公平感を持たないか心配である。
- 制度を活用しやすい家庭ばかりではないことへの配慮が必要である。
- 学校や地域、職場への理解が広がるとよい。

ラーケーションの日 アンケート結果について ～保護者対象～

「ラーケーションの日」に関する主なご意見

9. その他

- 年間3日では少ないため、取得日数を増やしてほしい。
- 前年度に利用しなかった日数を翌年度に繰り越せるとよい。
- 「ラーケーション」という名称が分かりにくく、より伝わりやすい表現が望ましい。
- 市や学校から、見学先や体験活動などの情報提供があると活用しやすい。
- 個別取得型だけでなく、市全体で共通の休業日を設ける方法も考えられる。

「ラーケーションの日」 今後の対応の方向性について

制度の趣旨や意義について、よりわかりやすい周知に努めます

「親子で学び、体験する日」としての目的や考え方が、保護者・子ども双方に伝わるよう、案内内容の充実や周知の工夫を進めます。

申請方法や提出方法について、わかりやすさの向上に努めます

申請先や手続きの流れ、報告方法などについて、初めて利用する方にも分かりやすい案内となるよう見直します。

学習面への不安に配慮し、家庭で取り組みやすい案内の工夫を進めます

学校の負担にも配慮しながら、家庭学習につなげやすい情報提供や案内のあり方について検討します。

現在の運用について、より理解しやすい情報提供に努めます

取得できない日や利用にあたってのルールなどについて、誤解が生じにくいよう、分かりやすい周知に努めます。

多様な家庭状況に配慮しながら、丁寧な制度運用に努めます

利用のしやすさに家庭差があることもふまえ、子どもたちが制度の趣旨を理解し、互いに尊重し合えるよう、丁寧な説明や配慮を進めます。